

日本文化人類学会 第4回国際シンポジウム

東アジアにおける人類学の国際化／グローバル化

——第2部 中国と日本

日時：2017年12月28日（木）13:00～17:30

会場：首都大学東京 南大沢キャンパス 国際交流会館

地図：http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html

使用言語：日本語、中国語、英語（中国語は通訳あり）

～プログラム～

開会挨拶：松田素二（日本文化人類学会会長；京都大学・教授）

趣旨説明：河合洋尚（国立民族学博物館・准教授）

第Ⅰ部 特別講演

① 王銘銘（北京大学・教授）

東方中的西方——中国人類学兩大傳統的形与変異

（東洋のなかの西洋——中国人類学における二大伝統学派的形成と変容）

* 中国語 [日本語通訳あり]

② 劉正愛（中国社会科学院民族学・人類学研究所・教授）

大陸中国における日本人類学の影響

——1980年代以降を中心として

* 日本語

第Ⅱ部 討論会

東アジアにおける人類学ネットワークの

再構築に向けて

パネリスト：周 星（愛知大学・教授）

中生勝美（桜美林大学・教授）

川口幸大（東北大学・准教授）

佐藤若菜（新潟国際情報大学・講師）

討論会司会：河合洋尚

シンポジウム総合司会：桑山敬己（北海道大学・教授）

東アジアにおける人類学の国際化／グローバル化について、今年度は中国と日本に焦点を当てて考えます。中国の人類学は、その草創期よりイギリス、フランス、アメリカ、ロシア、そして日本の人類学との関係のなかで発展してきました。近年、学問のグローバル化に伴って東アジアにおける人類学における知の体系が変化し、特に英語での国際発信がますます求められるようになっていきます。しかし他方で、中華圏や日中間では自国言語をベースとする多言語での学術会議が重視されているのも事実です。本シンポジウムは、中国人類学による国際交流の歴史と現在を踏まえたうえで、東アジアにおける人類学ネットワークの再構築について考えます。

～過去の大会～

第1回 国際化する日本の文化人類学と国際情報発信強化の試み①

第2回 国際化する日本の文化人類学と国際情報発信強化の試み②

第3回 東アジアにおける人類学の国際化／グローバル化——第1部 韓国と日本

本シンポジウムは、独立行政法人 日本学術振興会平成29年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）（JSPS 科研費JP16HP3004）の助成を受けて実施されます。